

平成26年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	筑波大学	主たる交流先の 相手国	ロシア
構 想 名	ロシア語圏諸国を対象とした産業界で活躍できるマルチリンガル人材育成プログラム		

〔評価コメント〕

本構想は、マルチリンガル能力と実務能力の強化を通して、日本とロシア語圏の産業界において活躍できる人材の育成を目的としたプログラムであり、これまでの実績を土台として、ロシア、カザフスタン、ウズベキスタン、ベラルーシの11大学・1機関との間で、交換留学、実務能力養成のための海外研修、医療実務研修、日本語・日本文化研修を行う意欲的な取組である。その展開に当たっては、貴学の国際化に向けた戦略における本構想の位置付けが明確に示され、全学的推進体制で実施する計画となっており、高く評価できる。

また、学生への支援体制については、学士課程の「筑波スタンダード」の公表（平成20年3月）後、GPA制度の導入、教育情報システムの整備やグローバル・コモンズ機構の設置等が進められており、学生交流においても、相手大学11大学のうち、交換留学や短期研修で既に交流のある6大学との間で、過去7年間に333名の派遣・受入実績があり、学生が実務型人材として成長するための準備が十分整っている。

一方で、カリキュラム編成に当たっては、構想名に掲げたマルチリンガル人材像とプログラム内容との関連性をより明確にして、外部からの評価を取り入れながら取組を進めることが求められる。また、インターンシップの内容と質の保証について更なる検討が望まれる。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の日露関係を見据え、ロシアとの間の架け橋となるリーダー人材の育成に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。